

# サポートルームだより

町田市立小川小学校  
サポートルーム拠点校  
校長 星 彰  
2026年4月27日 No.2

## 変化の4月・根を張る5月



新学期がスタートし、早くも1か月が過ぎました。環境やリズムが大きく変わる4月ですが、新しい生活に戸惑いながらも、自分なりのペースを掴み一歩ずつ前へ進もうとする子どもたちの生命力あふれる姿を頼もしく感じています。

さて、先日はお忙しい中、保護者会に足を運んでいただきありがとうございました。皆様と直接お会いし、ご家庭の様子や大切なお子さんの成長についてじっくりとお話を伺えたこと、大変心強く感じております。

※裏面に、当日話題に上がったことをQ&Aを形式でまとめています。ぜひご覧ください。



## 活動紹介:くじ引きトークキング

今週の小集団活動では「くじ引きトークキング」を行いました。くじで出たお題に答える活動を通して、自分のことを伝えたり、友達との共通点を見つけたりするのが狙いです。「好きなこと」や「将来の夢」などの話題に対し、「〇〇さんと似ているな」と反応するなど、相手の話をよく聞いて共感する姿が印象的でした。今後も、話型の提示などの手がかりを添えながら、安心して自分の考えを発信できる力を育てていきます。

## 予定

○5月11日～個人面談

\*小川小の特別支援面談にサポートルームの教員が入り、今後の支援について相談させていただきます。都合によりmeetなどでの参加の場合もありますのでご承知おきください。

\*日時については学級担任からお知らせいたします。



## 「マルチメディアデイジー教科書」のご紹介

「マルチメディアデイジー教科書」は、公益財団法人日本リハビリテーション協会が提供している音声教材です。通常の教科書と同様のテキスト、画像を使用し、テキストに音声をシンクロさせて読むことができます。読むことに困難があるお子さんにとっては有効なツールで、サポートルームでも既に活用している児童がおります。児童のクロムブックに設定することができるので、自宅で活用することも可能です。

活用のためには、保護者の方に申請書類を提出して頂く必要があります。ご興味がある方は、サポートルームの各担当までお知らせください。

なお、昨年度利用されていた方は、継続して使用できるよう書類をお渡しいたします。必要事項を記入し、ご提出ください。




裏面へ

# 「これってどうしてる?みんなの Q&A」

ogawa

12:13

13% 

サポートルーム保護者会



Q1：読み飛ばしや読み間違いが多く、内容のイメージ化が苦手です。

既読  
12:13 AM

既読  
12:13 AM

Q1：読む行以外を隠せる「リーディングスリット」という道具があります。視点が定まり、集中しやすくなるのでおすすめです。また、まずは大人が音読をして、お子さんが「頭の中に絵を描く練習」から始めるのも有効です。



Q2：ゲームの切り替えや宿題の「スイッチ」が入らなくて.....。

既読  
12:13 AM

Q2：タイマーで残り時間を可視化したり、本人にスケジュールを決めさせたりしています。親子で一緒に予定を組むところから伴走し、うまくできたらシールを貼るなど「達成感」を得られる工夫も話題に上がりました。



Q3：教室に入りづらい時や、不安が強い時の対策はありますか？

既読  
12:13 AM

Q3：「〇分したら戻る」と終わりを決めて動いたり、「イヤーマフ」や「プッシュポップ」などの安心グッズを常備したりしています。好きな匂いの布を持つなど、五感の刺激を調整して「ここは安心できる場所だ」と思える工夫が紹介されました。

Aa



## お願い

- ・サポートルーム児童調査書をまだ提出していない方は、学級担任かサポートルーム教員、専門員までご提出ください。
- ・サポートルームの教員は月曜日・金曜日に、小川小に勤務しております。新年度が始まり、ご不明な点や不安なこと等がありましたら、遠慮なくご連絡ください。(勤務日以外で教員に連絡を取りたい場合は、南第三小の特別支援専門員南第四小特別支援専門員までご連絡ください。)引き続きご理解、ご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。